

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市岩切児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用数》 ・令和4年度 30,044人(前年度比 119.9%) ・令和3年度 25,063人 ・令和2年度 26,791人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 64,754千円 (64,291千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、Facebookの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備と安全面の配慮が行われており、家庭や学校と情報共有を図り連携した育成支援に努めている。また、乳幼児向けの交流の場を工夫するなど、子育て家庭を支援するとともに、様々な地域組織・団体・住民・関係機関との連携、相互交流を図りながら児童館の運営に取り組んでいる。 なお、職員における虐待や不適切な対応を防止する取り組みについてのマニュアル「児童厚生員の倫理 コンプライアンス」を整備し、職員会議やOJTを開催して職員間で周知共有、子どもの人権に十分に配慮するとともに、子ども一人ひとりの人格を尊重して支援が行われている。	19/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》
<p>「児童館の特性を生かしながら運営をどう行うか」をテーマに、スタッフ全員で考え運営を行ってきた。</p> <p>○児童健全育成事業 新型コロナウイルスの状況をみながら、現時点での子どもの居場所をどうつくっていくか考え、流動的に対応した。児童館での遊びを通し子どもたちが感じ、学び考えることができるよう、日常的な遊びや関わりの中での出来事を共感しスタッフで検討する機会を増やした。</p> <p>○子育て家庭支援事業 児童民生委員さんやいわき子育てネットワークのメンバーと積極的な情報館に努め「lkoNet」のリーフレットの改訂版を作成し発行した。児童館に来館した保護者には、ゆっくり過ごしてもらえるように、子ども達の様子と一緒に見守りながら、保護者との対話を大切にコミュニケーションを図ることを基本としていた。</p> <p>○地域交流推進事業 新型コロナウイルスの感染拡大状況をみながら、工夫し会議や集まりを行った。この状況で今子どもたちの為に、地域の為にできることを模索し、情報交換をし、てんたん人形劇や弦楽器コンサート、わくわく防災キャンプ、防災さんぼなど多くの事業を行うことができた。</p> <p>○放課後児童健全育成事業 感染リスクを下げながら日常生活を送るなかで、遊びについての工夫が必要な場面が多く、課題も多かった。課題が見つかる度にスタッフ全員で解決に向けて見直し、検討した。各々のスキルアップと共に、子どもたち一人ひとりの好きな遊びをクローズアップし、遊び込める環境を作った。遊びを通して子どもの成長を感じられた一年だった。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、「児童館であそぼう」として、ボードゲームや季節のイベントを企画したり、「年賀状を書こう」「WAZA自慢大会」を土曜日に開催し、多彩な体験の機会を提供している。4年生以上の子どもを対象にボランティアを募集して、「岩切老番商店街」や「WAZA自慢大会」等の行事の企画や運営について、子ども達の意見を反映させながら実現できる支援を行い、達成感や自主性や社会性を育てている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、「おはなし会」や親子で工作等を楽しめる「はらぺこサロン」「育自講座」では、ママのための防災講座やお片付け講座等、家庭で役立つ情報を提供しながら、保護者同士の交流も図れるよう支援している。児童館に来たらいつでも楽しいことができるよう、特定の日に開催するイベントではなく月間プログラムとしていろいろな遊びを提供して日々の遊びの充実を図り、利用しやすい環境作りに努めている。</p> <p>地域交流推進事業においては、コロナ禍で児童館利用が減っていたことから、オリジナルのパネルシアターの上演や行事の準備、児童館での子ども達の様子を撮影して配信した。児童館便りにQRコードを掲載して視聴しやすい工夫をしたり、児童館での遊びや行事に関心が持てるような内容で配信したことで日々の利用や行事への参加が増え、地域に向けた児童館の認知向上に繋がっている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、子ども自身が自然やその変化に気付ける支援をしたり、様々な感覚を刺激して遊べるように多彩な素材や用具等を準備し環境を整えている。また、一人一人の子どもの状況を把握しながら遊びの場や休息の場を保障し、お互いが心地よく過ごせるようにクールダウンできる場所を作ったり、各室内の配置を見直す等遊びの充実と児童の心身の健康増進に努めている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課